

NO. 341 『玉碎瓦全』 ぎよくさい がぜん

< 意味 > 正義や名誉のためにいさぎよく死ぬことと、平凡に生き長らえること。

< 出典 > 『北斎書』^{ほくせいしょ}元景安伝^{げんけいあんでん}。「大丈夫寧ろ玉碎すべく、瓦全たる能^{あた}わず」(立派な男は身は玉と砕けても、かわらのようになすこともなく生き長らえようとは思わないものだ)

語 釈 : 「玉碎」は玉のように美しく砕け散るの意。名誉などに殉じていさぎよく死ぬたとえ。「瓦全」はかわらのようなつまらないものとなって身をまっとうする。なすこともなく、いたずらに生き長らえるたとえ。

一 言 : 8月の終戦記念日の前後で太平洋戦争が振り返られるとき、よくサイパン島玉碎とかアッツ島玉碎とかの史実が語られます。日本軍部はこの熟語の意味の通りに兵士を洗脳して死地に赴かせたのかと思うとやり切れない思いになります。しかし、多くの兵士は寧ろ「瓦全」でもいいから生きたいと思ったに違いありません。

私がこの四字熟語を知ったときは少なからず驚き、「瓦全」の熟語の意味に感じ入りました。その時からちょっと気取って「瓦全」を私の号にしています。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」